

鎌倉朝日新聞社

広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも

TEL 0467 (24) 8553
FAX 0467 (23) 1205

お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラ・タダグリーン(造園と庭木の管理) ●ダスキンオークラ 検索
も好評受付中です!! www.duskin-city.com

鎌倉六町歯科
KAMAKURA OMACHI DENTAL
歯科・矯正歯科
(各種保険取扱/初診 急患随時受付)
鎌倉市大町4-1-7 (木曜、日曜、祝日休診) **0467-81-4488**
<http://www.kamakura.dental/index.html>

子どもたちへ伝えたい「ずし平和デー」

103歳の戦争の体験談や被爆者の話も

今年で14回目の「ずし平和デー」が8月に開催され、7日の逗子文化プラザホールでのオープニング企画「つなぐ平和の絆」では、終戦から80年の特別企画として元特攻隊整備員で法勝寺前住職の三田村鳳治さん(103)が登場した。「もう帰って来られないだろう」と覚悟した雨の神宮外苑での学徒出陣。宮崎県の都城西飛行場、鹿児島県の知覧飛行場などで戦闘機の整備員として帰らぬ戦友を見送った。三田村さんは「当時は何も話せない軍国主義。今は何でも話せる。皆で戦争はダメだと言ってもいい」と訴えた。

戦後、境内に設立した幼稚園(現かぐのみ幼稚園)では今も平和教育が受け継がれている。壇上で桐ヶ谷寛子市長も「生の声で当時を知ることはなかなかできない。辛い思い出を振り絞るように話して下さった」と話を話ませた。

今年のは、会場は半数を子どもたちが占め、初参加の逗子葉山高校合唱部が、昨年市民から集めた平和へのメッセージをひたすら歌った。梅田川は、河畔は散歩道だ。対して梅田川はビルや家々の間を縫って流れ、暗渠となっている場所も結構ある。そんな梅田川だが、いや、だからそこどっこい生きていけるぞと主張してくる強さがある。昔はどぶ川であつたろうが、水質はよくなった。その証拠に鴨が遊んでいる。忘れられたような風景にも清流がある。それが鎌倉だ。水彩 46×61cm

スケッチ日和

91

黒川明



61cm 水彩 46×61cm

西鎌倉小学校6年生の石井椋晴くんは「市長から市長さんのイスに座らせてもらった」と話し、母の久枝さんは「市長が非常時に取組む姿を目の当たりにして、仕事の重大さを実感した」と話していた。

その後、議場はじめ、市役所全体が帰宅困難者一時滞在場所となり、避難してきた人が各フロアに用意されたイスに腰掛けて不安げにケイタイを見ながら津波警報の解除を待った。



災害対策本部室で松尾市長と

市長は災害対策の任務にためイベントは中止され、解散した。

見学を終えた人たちは「15年間放置して荒れ放題、建物がかわいそう」「歴史ある建物を次の世代に残してほしい」と市職員を叩んで訴えた。

改修工事は今年度中に業者を選定して、来年度着工する。市文化課の職員は「解体前提にどういったものを残すか考えていく」と話している。

突然の避難警報 任務につく市長ら

ロシア・カムチャツカ半島沖で起きた地震による津波警報が発せられた7月30日、鎌倉市役所では「子どもみらいミーティング@市役所」の催しが開かれていた。市内の国公立小4年生から6年生まで12人の児童とその保護者が参加していた。松尾崇鎌倉市長と市役所の屋上からまちを眺めたあと、市長室で市長のイスに腰掛けて記念撮影。保護者のケイタイの警報がたたましく鳴ったのは、午前9時40分ごろ。災害対策本部室で災害時に会議を行う場所や、警報を発令する部屋を見学している最中。

建物保存求める声 旧前田邸の見学会

鎌倉文学館改修にともない、解体が予定されている敷地内の洋館旧前田邸の見学を含めた同文学館改修計画の説明会が8月3日、午前・午後で約350人が訪れた。写真。加賀前田家17代当主・利建さんによって1971年に建設された鉄筋コンクリート造の洋館。延床面積264㎡。鎌倉市は2010年に18代当主利祐さんから土地と建物の寄付を受けた。市は活用を検討したが、建物の一部が土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定されていること、耐震性や建物内の段差などの点から総合的に判断し、解体の方針を決めた。

「東北被災者を鎌倉に未来・連福」

「未来・連福プロジェクト」(齊藤美代子代表)主催の第12回「福島を皆さんを鎌倉に招待・建長寺で会いましょう」が8月上旬2泊3日で行われ、福島県双葉町から41人が参加した。同会は、2012年発足。2013年から募金活動や演奏会などで集めた資金で東日本大震災の被災者を鎌倉に招待して今年で12回目。

一行は滞在中、鶴岡八幡宮、建長寺半蔵坊、鎌倉大仏を見学し、円覚寺では管長の講話を聞いた。

夕方から建長寺龍王殿で交流会が行われ、2日目は、双葉町の副町長が、「福島第一原発の原発事故の後、全域で避難指示が出されていたが、3年前に町の一部で避難指示が解除された。この間、200人近いボランティアが協力して、地域の支度や生活の世話、健康管理、記録、歓迎会など小学生から高齢者まで当初から毎回200人近いボランティアが協力して、役員は多くは80代。齊藤代表は「つらいこともあるという気持ちを入れ替えて元気になってくれた。うれしい」と話していた。



鎌倉インテル感謝祭

約1700人

鎌倉インターナショナルFC(鎌倉インテル)は8月11日、ゴールドクラストスタジアム鎌倉(クレス

「クルマの売却、迷ったらご相談を車売るならハッピーカーズ鎌倉店」

「車検を通すか迷っている」「車の維持費が大変」「免許返納を考えている」「そんなときに頼れるのが、地域密着の車買取専門店ハッピーカーズ鎌倉店。丁寧な対応と納得の高額査定で、たくさんのお客様にご満足いただいています。出張査定は無料。実績豊富な坂野代表がご自宅まで伺います。

査定額に納得できなかったら、お断りいただいて構いません。

名義変更後には、必ず書面・報告。最後まで安心して任せられる車買取店です。

0467・814641
HP: h-kamakura.jp



「鎌倉朝日を見たお電話を」

「愛車を高く、安心して手放したい」そんな思いをお持ちの方は、ぜひ一度ご相談を。

0467・814641
HP: h-kamakura.jp

障害の有無越えて エコールドカマクラ

「エコールド・カマクラ サマーエキシビション」と題した絵画展が7月10日から8月11日まで、鎌倉の佐助カフェ(鎌倉市佐助)と道キヤラー(鎌倉市若宮大路)で開かれ、話題を呼んだ。

佐助カフェの島崎亮平さんと道工房の岩立実勇さんが障害の有無、国籍、年齢、アートを問わず、真の創造的な欲求から生み出されたアート作品を展示した。受賞作はフレーム切手になって販売予定。

これら作品は、「エコールド・カマクラ GINZA エキシビション」として9月16日・20日東京・銀座のWABI Galleryで展示される。観覧無料。



「最終の積み家を考える」

「最終の積み家を考える」

「ピンポイント」。呼び鈴が鳴り、玄関のインターホンで「近所で工事している者ですが」と男の声。何事かとドアを開けると、作業服を着た職人の男が二人。近所ですべての屋根を葺き替えている。一軒家を造るには多くの専門業者が関わり、その専門業者を取りまとめる立場の業者が必要で、それが工務店・建設業者です。

屋根を葺くにしても、外壁を綺麗にするにしても、一つの専門業者だけではできない資格も必要です。詐欺被害を受けておくと大変なことになりますよ」と言われた。

これは典型的な点検商法の手口です。素人は簡単に屋根を葺くことが大事です。

0467・475454
HP: www.hyuga.co.jp

「最終の積み家を考える」

「最終の積み家を考える」

「最終の積み家を考える」